

おきさちさんのコラム ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- シャボン玉スノール
- 重曹

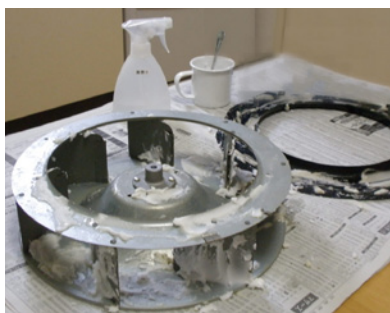


その⑥ 「換気扇やレンジフードのイヤな汚れにもシャボン玉石けんは強い味方！」

今年ももうすぐ終わりですね。おせちは作りおきできませんが、掃除なら今からできます。寒くて忙しい年末に、「大掃除」するより、汚れがゆるみやすく、窓も開けても寒くない秋のうちに「ちょこちょこ掃除」するほうが断然楽です。

大掃除で嫌な箇所、堂々一位が換気扇やレンジフードの油汚れだとか。シンクに栓をしてゴミ袋を入れて洗剤液を作ったり……面倒ですよ。実は「シャボン玉スノール」と「重曹」で、とっても簡単にきれいにできます。

まず新聞紙を広げて、汚れた換気扇のファンやカバーを乗せ、重曹水(200ccの水に重曹を小さじ3杯溶かしたもの)を全体にスプレーして湿らせておきます。「シャボン玉

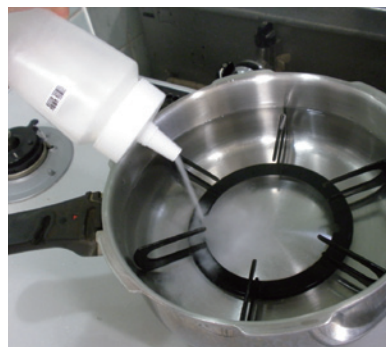


テーブルで作業するのがポイント。重曹&スノールペーストを塗り、放置している間に五徳(右段落写真)に取り掛かると時間短縮!

スノール」と「重曹」を混ぜてペースト状にしたものを、固まった油汚れに塗りつけ30分ほど放置。汚れを分解してペーストが茶色くなっていきます。汚れがずりりとむけるように落ちるのを確認したら、ぼろきれで、汚れをぬぐいながら、新聞紙に汚れたペーストを乗せていきます。鋭利なパーツが多いので、手を切らないよう軍手をすると安全です。

ポイントは、ペーストをきれいに取り除くまで、水で流さないこと。油汚れをシンクで洗うと、今度はシンクと排水溝、排水管に油汚れがついてしまいます。ペーストを完全に拭き

取ったら、ここで初めて、お湯で流して仕上げます。ぬぐったぼろきれは、汚れたペーストと一緒に新聞紙で丸めて捨てるだけ。簡単なので半年に1回でもいいと思います。



「熱」でこびりついた汚れは、重曹+熱で落とします

五徳の焦げは、はずせるタイプなら、煮洗いが一番簡単です。鍋に、ひたひたに水を張り、五徳を漬け込み重曹を大さじ2杯ほど投入して火にかけます。沸騰後5分ほどしてから火を消して、触れるくらいになるまで冷まします。鍋から取り出し焦げに「重曹」の粉をかけて磨いてみると……焦げがずりりと剥がれて、ピカピカの地肌が現れます。キズもつきません。五徳は、一度きれいにしてしまえば、次からは、汚れが付くたびに重曹水を吹きつけておけば、こびりつかず、気付いた時にさっと洗うだけ。煮洗い不要です。

これで年末は年賀状と、クリスマス料理と、おせち作成に集中できますよ。楽しい年越しに向けて今からちょこちょこやりましょう。どうぞ良いお年をお迎え下さいね。



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー